

文部科学省 「学校施設の防災力強化 プロジェクト(平成26年度)」報告書

避難所としての防災機能の強化
(大学による教職員・学生・近隣住民と協働した
実践型避難所運営研修会の実施)



平成27年2月
徳島大学総務部総務課

文部科学省「学校施設の防災力強化プロジェクト(平成26年度)」報告書

目 次

1. 委託事業実施の趣旨
2. 委託事業計画概要
3. 避難所研修会実施要領
4. 常三島地区避難所研修会9月7日(日)
5. 新蔵地区避難所研修会9月20日(土)
6. 蔵本地区避難所研修会10月5日(日)
7. 避難所研修会参加者
 - ・地域別、住民・教職員・学生・実施委員別参加者人数一覧表
8. アンケート集計結果
9. 研修会配布・参考資料
 - (1)実施委員会議事録
 - ・第1回 6月18日実施委員会議事録
 - ・第2回 7月16日実施委員会議事録
 - ・第3回 8月27日実施委員会議事録
 - ・第4回(11月11日)実施委員会議事録
 - (2)アンケート資料
 - ・アンケート用紙
 - ・常三島地区アンケート結果一覧
 - ・新蔵地区アンケート結果一覧
 - ・蔵本地区アンケート結果一覧
 - (3)避難所研修会チラシ(常三島地区、新蔵地区、蔵本地区)
 - (4)講演資料「南海トラフ巨大地震に備える」
 - (5)資料「避難所で困ること」
 - (6)避難所施設のレイアウト図
 - (7)避難所での防災備蓄品
10. 避難所研修会実施支援者(協力教員・事務職員、協力学生、実施委員)
11. 避難所研修実施を終えて

1. 委託事業実施の趣旨

文部科学省委託事業「学校施設の防災力強化プロジェクト(平成 26 年度)」
による『徳島大学避難所研修会』

徳島大学では、東日本大震災以降、今後発生の可能性が高まっている南海トラフ巨大地震等に対応するため、東南海・南海地震対策委員会を立ち上げ、対応体制の見直し、災害対策マニュアルの見直し、災害対応班別のアクションと課題整理などを実施してきました。

このような中、平成 25 年 3 月に徳島市から、災害時に大学施設を津波の一時避難所として利用したいとの申し出があったため、協定書の締結を行い、本学の災害対応体制にも「避難住民対策班」を組織し、災害時の避難住民への支援とアクションの検討を行っています。

この度、文部科学省の公募事業である「学校施設の防災力強化プロジェクト」に、本学が申請していた『大学による教職員・学生・近隣住民と協働した実践型避難所運営研修会の実施』が採択されました。

研修の狙いは、近隣住民に大学構内の避難所施設の所在位置、各施設の鍵の保管場所と管理方法及び施設内の確認と防災備品の備蓄現状を知って頂くことにより、災害時における住民避難のスムーズな行動に結び着けたいと考えています。さらに、災害時、住民避難対策班を担当する大学職員が、担当避難所を案内することで、担当職員自身の訓練にも有効と考え取り組むものであります。

徳島大学南海トラフ巨大地震被災想定

被災想定レベル2

東海・東南海・南海・日向灘
+ 南海トラフ連動地震(Mw9.1)クラス
1000年に1回程度

津波対策レベル2
避難最優先、人命を守る



被災想定レベル1

宝永南海地震(Mw8.6)クラス
200~300年に1回程度

津波対策レベル1
事業継続、早期復旧の達成



3キャンパスの地震動と津波被害(満潮時最大)

2. 委託事業計画概要

1. 事業委託期間 委託を受けた日～平成 27 年 3 月 4 日

2. 委託事業のテーマ

避難所としての防災機能の強化

(大学による教職員・学生・近隣住民と協働した実践型避難所運営研修会の実施)

3. 事業の実施体制

実施構成員

大学教職員 20 名 徳島市危機管理課 2 名 近隣自主防災組織等 15 名

研修会参加者構成員(のべ 250 名)

①蔵本キャンパス体育館 大学教職員 20 名 地域住民 30 名 大学生 50 名

②常三島キャンパス体育館・共通講義棟 大学教職員 20 名 地域住民 30 名 大学生 50 名

③新蔵キャンパス日亜会館 大学教職員 20 名 地域住民 30 名

4. 事業の内容

(1)事業推進の方法及び内容等

本学の避難住民対策班を中心とし、行政(徳島市)、近隣住民(自主防災組織)の代表者と共に実施委員会を組織し、本委託事業を推進する。

(2)事業計画

①先進事例調査

1)工学院大学にて実施している住民参加型避難訓練の先進事例ヒアリング調査、意見交換を実施する。

2)早稲田商店会の地域住民との防災への取り組みについての先進事例を調査し、意見交換を実施する。

②実施委員会

1)実施方針、方法等検討のための委員会開催

2)研修会実施についての体制や実施方法等検討のための委員会開催

3)実施後のフィードバック及び報告書作成のための委員会開催

③点検方針や対策方針の策定

本学がこれまで取りまとめてきた災害時の対応が、本事業による実践型避難所運営研修会を実施することにより本当に機能するかをチェックし、その改善点について検討するとともに、各キャンパス特有の問題点や課題も合わせて抽出し、避難所としての防災機能強化につなげていく。

(3)実施日程(予定)

実施時期	計 画 事 項	摘 要
委嘱決定 6月	情報収集、資料収集 実施委員会(第1回)開催 研修会内容検討	
7月	工学院大学先進事例調査1 早稲田商店会先進事例調査2	粕淵義郎、湯浅恭史 粕淵義郎、湯浅恭史
8月	研修会内容検討 実施委員会(第2回)開催	
9月	避難所運営研修会(常三島C)実施 避難所運営研修会(新蔵C)実施 避難所運営研修会(蔵本C)実施	
10月	反省会 実施委員会(第3回)開催	講師:中野 晋 講師:湯浅恭史 講師:田村隆雄
11月	報告書作成	
12月	報告書提出	提出部数1,300部 発送先予定は別紙
H27年 1月~2月	成果発表会	奈良 2名

5. 報告書送付先 文部科学省 10部 徳島市 50部
地域自主防災組織 1,000部 徳島大学 200部
徳島県 40部

実施委員会出席者名簿(計7名)

氏 名	所属及び役職
中野 晋	徳島大学環境防災研究センター 副所長
田村隆雄	徳島大学環境防災研究センター 准教授
湯浅恭史	徳島大学環境防災研究センター 助教
米沢伸治	徳島市危機管理監危機管理課係長
金山利勝	日本防災士会会員
藤本芳樹	徳島大学総務部企画評価課課長(避難住民対策班長)
粕淵義郎	徳島大学総務部総務課災害対策アドバイザー

3. 避難所研修会実施要領

【1】目的: 本学には徳島市と津波一時避難所等の協定を締結している日亜会館、常三島共通講義棟、常三島体育館、蔵本体育館があり、災害時スムーズな受入を行うためには近隣住民・近隣居住学生と大学職員の協働訓練が重要と考え、住民参加の避難所研修を実施する。

【2】避難所研修会

(1)実施日時及び会場

常三島地区 9月7日(日) 11時～13時

集合場所: 常三島体育館東階前 受付 10:30 から
講演、試食は共通講義棟2階 K206講義室

新蔵地区 9月20日(土) 11時～13時

集合場所: 日亜会館正面玄関前 受付 10:30 から
講演、試食は日亜会館2階講義室

蔵本地区 10月5日(日) 11時～13時

集合場所: 蔵本体育館玄関前 受付 10:30 から
講演、試食は蔵本会館2階多目的室

(2)研修内容

- ・趣旨説明挨拶
- ・避難所見学と施設等説明(津波避難ビルの場所、入り口の感振かぎ保管庫、避難指定階、使用可能な部屋と禁止事項等)
- ・防災講演「南海トラフ巨大地震への備え」講師: 中野晋教授
- ・避難所生活体験: 非常食の調理と試食
- ・マイトイレ紹介
- ・参加者のご意見・感想

(3)参加者

①プロジェクト実施委員、総務課

②徳島大学避難住民対策班

(企画評価課、工学部事務部管理係、図書館企画課、蔵本分館事務室)

③学外・学内参加者

常三島地区 計 100名 (学外:住民 50-60 学内:教職員 20 学生 10-20)

新蔵地区 計 80名 (学外:住民 40-50 学内:教職員 20 留学生 10)

蔵本地区 計 100名 (学外:住民 50-60 学内:教職員 20 学生 10-20)

4. 常三島地区避難所研修会実施内容

開催日時 開催場所

常三島地区 9月7日(日)11:00-13:00 受付10:30から

常三島体育館と共通講義棟見学、共通講義棟2階K206で説明・講演・試食

受付

集合受付:参加者記帳と非常食A, B, C, D選択券配布

趣旨説明挨拶

避難所見学と施設・備蓄品説明

常三島体育館の見学 説明担当:避難住民対策班(図書館企画課)

- ①体育館の場所、②感震かぎ保管庫の位置と内部確認
 - ③避難指定階は3階のみ第1体育場と共用廊下(1658人)
 - ④3階女子WC、男子WC、女子更衣室、男子更衣室
 - ⑤災害用備蓄品(3階体育場上段見学用デッキ)視察
- 共通講義棟1階東側通用口へ移動

共通講義棟の見学 説明担当:避難住民対策班(工学部事務部予算管理係)

- ①共通講義棟の場所、②感震かぎ保管庫の位置、【K棟東側各階扉共通鍵】
 - ③避難指定階は3階EVホール・廊下・講義室(1280m²)
4階EVホール・廊下(456m²) 収容人数計(1736人)
 - ④3階4階とも女子WC、男子WC
 - ⑤災害用備蓄品(共通講義棟4階EVホール前コーナー)視察省略
- 共通講義棟K206教室へ移動

防災講演 講師:中野晋教授

「南海トラフ巨大地震に備える」

休息・準備(講義室後部で非常食券と非常食一式を引き換え)

非常食のお湯(電気ポットで)準備

避難所生活体験

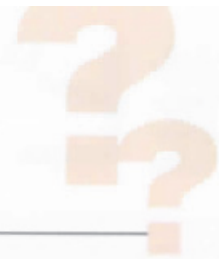
- ①非常食試食(A, Bお湯調理品、C, D調理なし)
- ②マイトイレの紹介
- ③参加者からのご意見・感想(アンケート)

終了挨拶

(退室時、マイトイレ作り方、ペットシート、ポリ袋を引渡)

後片付け

徳島大学の津波(一時)避難ビル どこにあるの(常三島キャンパス)



西側



東側



3階第1体育場
・共用廊下
収容人数:1,658人

西側



東側



3階EVホール・廊下・講義室
4階EVホール・廊下
収容人数:1,736人

感震かぎ保管庫(徳島市設置)の説明



(震度5強の揺れで
かぎ保管庫の扉が開く)

地震連動自動解錠「かぎ保管庫」



震度5強以上で「かぎ保管庫」は自動的に解錠します。
到着した人がハンドルを回し、「かぎ保管庫」を開け、
鍵を取り出し、入口を開放します。

注1: 保管庫の扉を開けると非常ベルが1分間鳴ります。

注2: 「扉のかぎ」は保管庫にもどしておきましょう



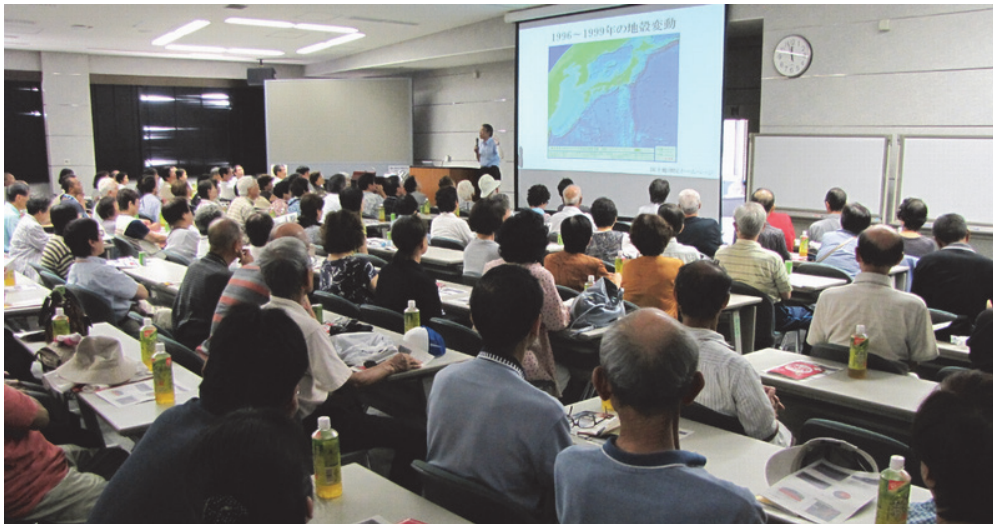
「かぎ保管庫」に①～④が
入っています。

- ①入口の鍵
- ②手動式懐中電灯
- ③施設の見取り図
(入口の鍵の位置を示したもの)
- ④バール(破壊器具)
- ⑤ドアストッパー(体育館はなし)

注2: ドアストッパー【かぎで解錠後、通電時
自動ロック機能が働く為、次の人が入れる
ようにドアストッパーで扉を開けた状態とす
るため】



4組に別れて
体育館に
集合



講演
「南海トラフ
巨大地震に
備える」



非常食の
試食

5. 新蔵地区避難所研修会実施内容

開催日時 開催場所

新蔵地区 9月20日(土)11:00-13:00 受付10:30から
日亜会館見学と2階講義室1・2で説明・講演・試食

受付

集合受付:参加者記帳と非常食A, B, C, D選択券配布

趣旨説明挨拶

避難所見学と施設・備蓄品説明

日亜会館の見学 説明担当:避難住民対策班(企画・評価課)

- ①日亜会館の場所、②感震かぎ保管庫の位置と内部確認
 - ③避難指定階は3階のみ廊下・共用室・講義室(399人)
 - ④3階女子WC,男子WC、多目的WC
 - ⑤災害用備蓄品(1階保管庫)視察
- 日亜会館2階講義室1・2へ移動

防災講演 講師:中野晋教授

「南海トラフ巨大地震に備える」

休息・準備(講義室後部で非常食券と非常食一式を引き換え)

非常食のお湯(電気ポットで)準備

避難所生活体験

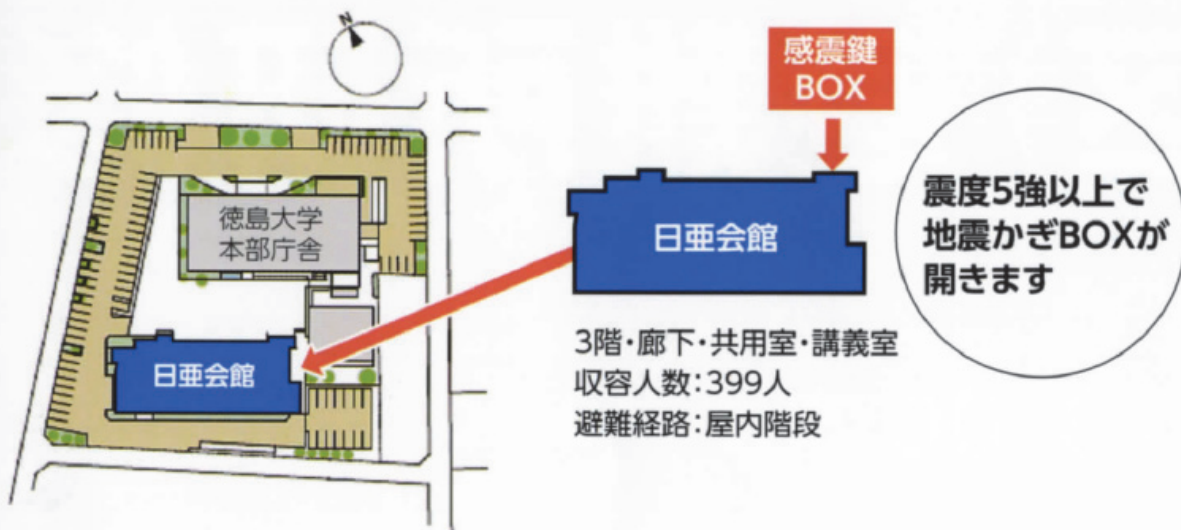
- ①非常食試食(A, Bお湯調理品、C, D調理なし)
- ②マイトイレの紹介
- ③参加者からのご意見・感想(アンケート)

終了挨拶

(退室時、マイトイレ作り方、ペットシート、ポリ袋を引渡)

後片付け

徳島大学の津波(一時)避難ビル どこにあるの(新蔵キャンパス)



感震鍵BOX



西側



東側





日亜会館受付

名簿記入と
非常食選び



感震かぎ
保管庫の
説明



エアー
マットの
説明

マイトイレの
見本説明



6. 蔵本地区避難所研修会実施内容

開催日時 開催場所

蔵本地区 10月5日(日)11:00-13:00 受付10:30から

蔵本体育館見学、蔵本会館多目的室1・4で説明・講演・試食

受付

集合受付:参加者記帳と非常食A, B, C, D選択券配布

趣旨説明挨拶

避難所見学と施設・備蓄品説明

蔵本体育館の見学 説明担当:避難住民対策班(図書館蔵本分館事務室)

- ①蔵本体育館の場所、②かぎの管理について
 - ③避難指定階は1階と2階 指定避難所ではなく補助的避難所
 - ④1階女子WC、男子WC、多目的WC
 - ⑤災害用備蓄品(2階体育場上段見学用デッキ)視察
- 蔵本会館2階多目的室1・4へ移動

防災講演 講師:中野晋教授

「南海トラフ巨大地震に備える」

休息・準備(多目的室後部で非常食券と非常食一式を引き換え)

非常食のお湯(電気ポットで)準備

避難所生活体験

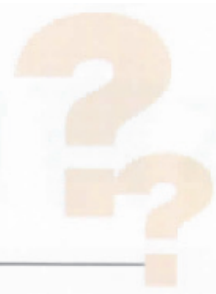
- ①非常食試食(A, Bお湯調理品、C, D調理なし)
- ②マイトイレの紹介
- ③参加者からのご意見・感想(アンケート)

終了挨拶

(退室時、マイトイレ作り方、ペットシート、ポリ袋を引渡)

後片付け

徳島大学の避難所蔵本体育館 どこにあるの(蔵本キャンパス)



南側



北側



東側



体育館
2階入口
1階入口



名簿記入

非常食選び



避難所施設の説明



体育館の備蓄品





非常食券
交換



講演「南海トラフ巨大地震に備える」



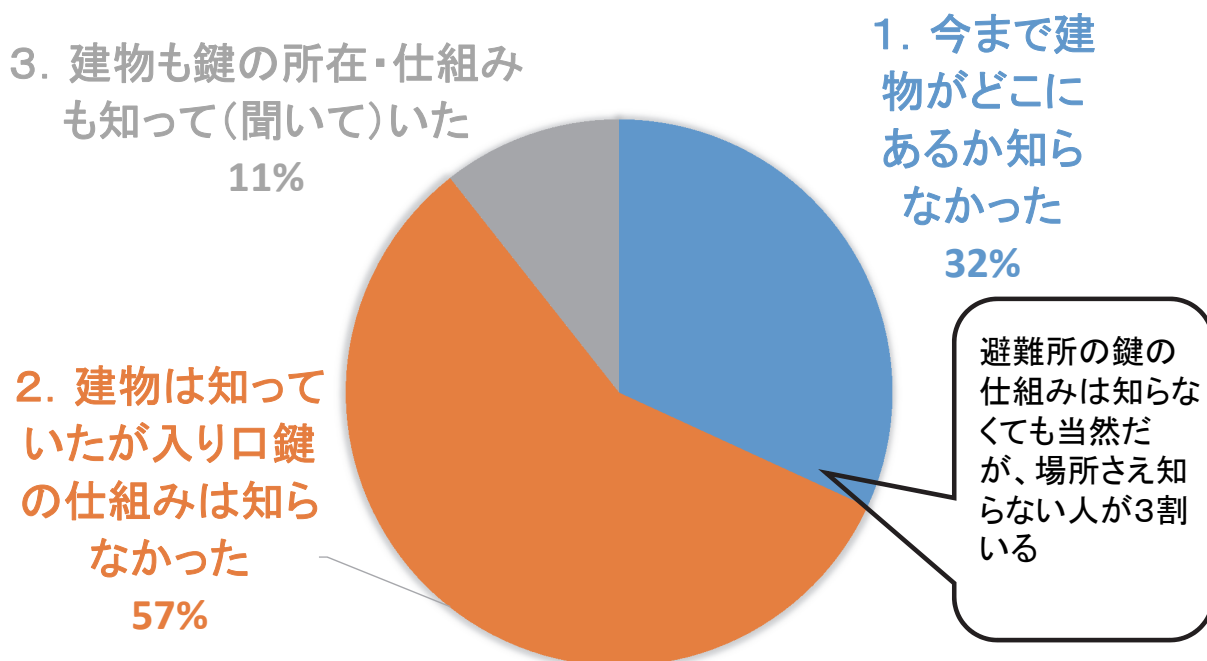
7. 避難所研修会参加者

地区別、住民・教職員・学生・実施委員別
避難所研修会参加人数一覧表

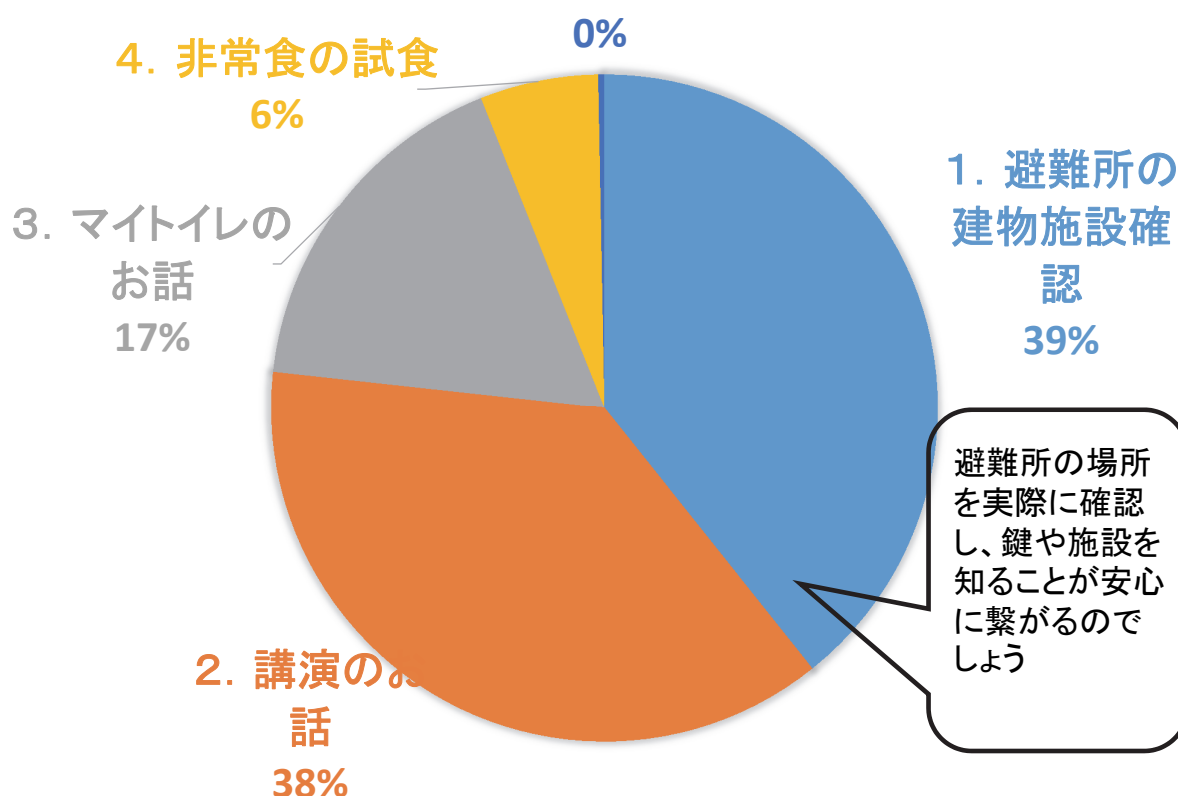
	常三島 地区 (人)	新蔵 地区 (人)	蔵本 地区 (人)	合計 (人)
住民	201	67	83	351
教職員	23	16	16	55
学生	9	10	7	26
実施委員	9	9	9	27
合計	242	102	115	459

8. アンケート集計結果

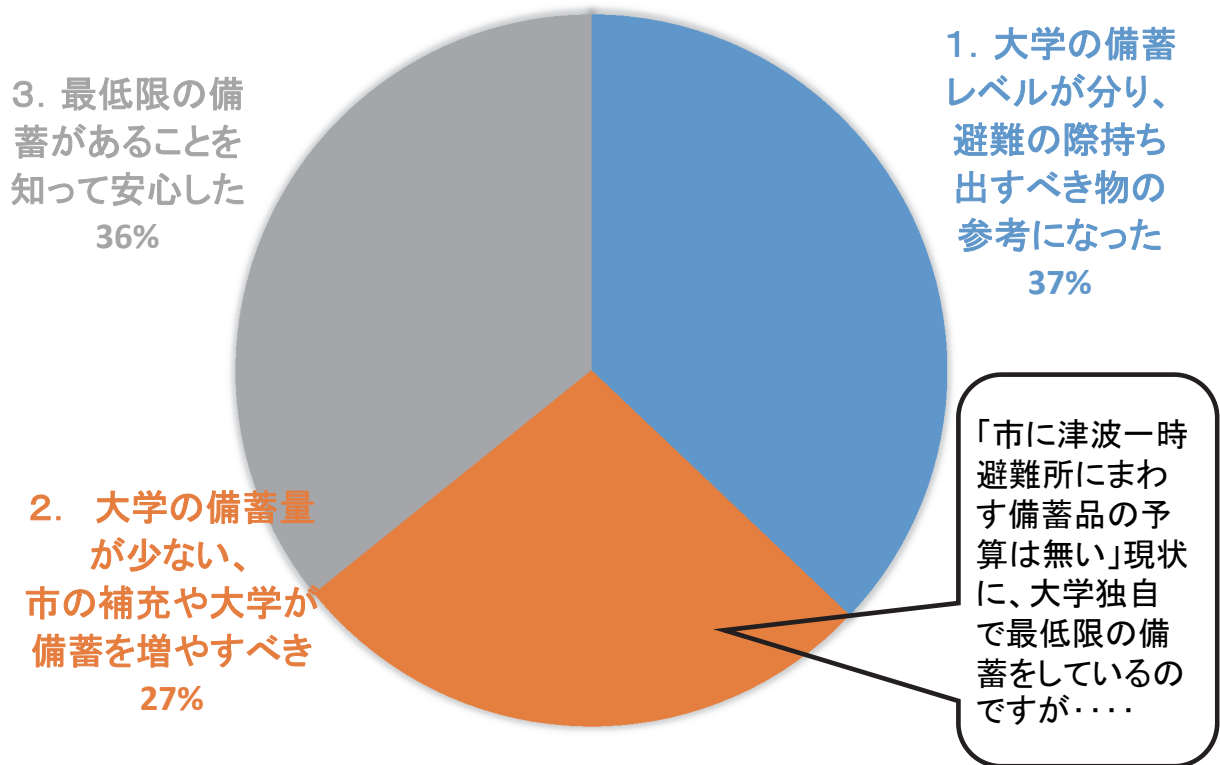
Q1: 大学避難所の建物について



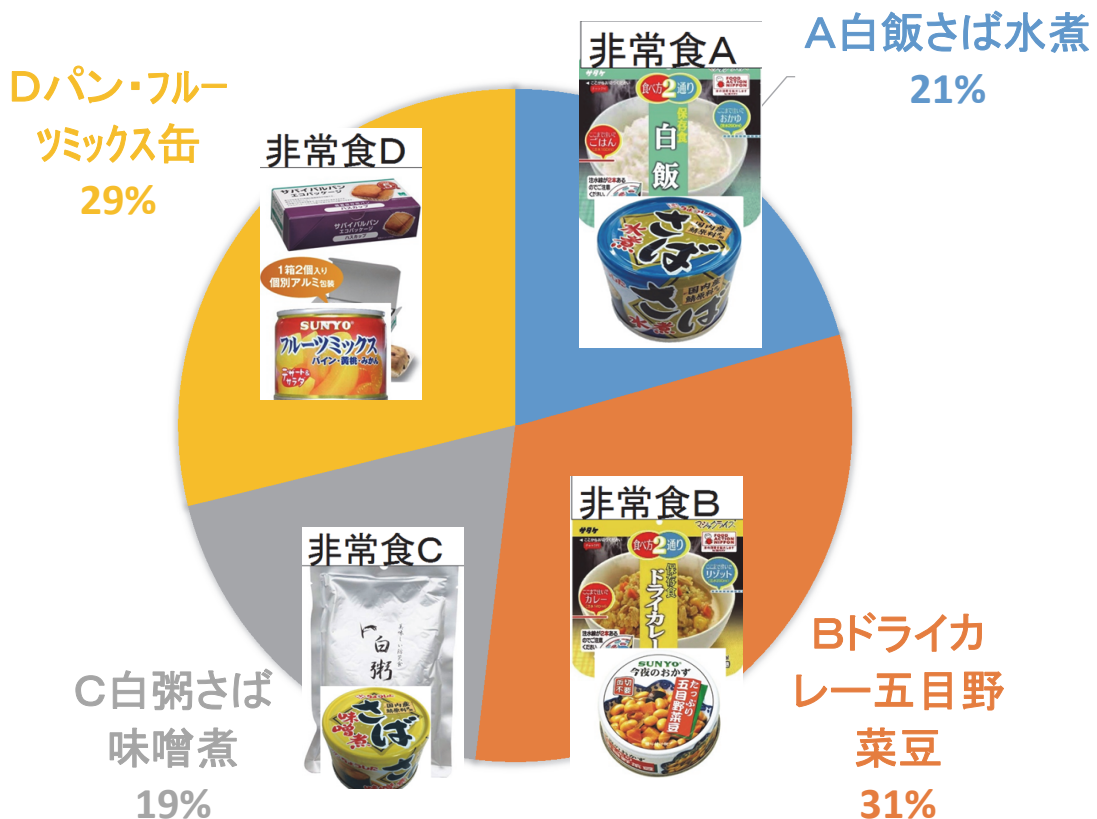
Q2: 研修で一番参考になったこと



Q3:水・非常食等の備蓄について



非常食選択比率



アンケート自由記述のご意見

「今回とてもいい体験ができてよかったです。近所に住んでいるながら、建物の中へ入ることなかったのもとても参考になりました。」等

津波一時避難ビルである常三島地区、新蔵地区に好意のご意見を多数いただいた

蔵本地区は補完的避難所として位置づけられているため、市からの要請があった後に、鍵を開ける点について

大学の近隣に住んでいるので直ちに開設するようにしてほしいとの要望が多かった

避難所研修で感じられた成果と課題

• 成果

- 住民に大学避難所の場所と施設を知ってもらえた
- 大学の住民対策班が受け入れの一端を理解できた

• 課題

- 蔵本地区は市指定避難所(小中学校等)の補完的位置づけとされ、大学近隣の住民は「災害時直ちに開設」を要求し、災害規模に応じた行政との思惑の違いがある
- 本来体育館の機能以外に、避難所として活用する必要がある場合は、障害者・お年寄りの避難を想定した設計を今後検討する必要があると思われる。
(障害者・お年寄りにやさしい階段、手すり、トイレ対策等)

9. 研修会配布・参考資料

9. 研修会配布・参考資料

(1) 実施委員会議事録

学校施設の防災力強化プロジェクト実施委員会（第1回）議事録

日時：2014年6月18日 10:00-12:00

場所：徳島大学常三島キャンパス内環境防災研究センター

出席者：実施委員会メンバー

徳島大学環境防災研究センター 副センター長 中野 晋

徳島大学環境防災研究センター 准教授 田村隆雄

徳島大学環境防災研究センター 助教 湯浅恭史

徳島市危機管理監危機管理課係長 米沢伸治

日本防災士会会員 金山利勝

徳島大学総務部企画評価課課長 藤本芳樹

徳島大学総務部総務課災害対策アドバイザー 粕淵義郎

徳島大学総務部総務課 西本紘子

検討内容

【1】先進事例の訪問先

今回地域住民と共に避難、避難所運営を進める上で参考になる事例を検討し
工学院大学建築学部まち作り学科と静岡大学防災総合センターに絞り進めたい

【2】避難所運営研修会実施案

(1) 実施時期

常三島地区 9月7日（日）11:00-13:00

新蔵地区 9月20日（土）11:00-13:00

蔵本地区 10月5日（日）11:00-13:00

の案で各地区の住民行事日程を確認して調整する

(2) 研修内容

- ・集合受付：参加者記帳 担当：田村准教授と総務課
- ・趣旨説明挨拶：中野晋教授
- ・避難所見学と施設・備蓄品説明「大学の避難住民対策アクションMの説明、津波避難ビルの場所、入り口の感震かぎ保管庫、避難指定階、使用可能な部屋と禁止事項、備蓄品の確認」担当：避難住民対策班
- ・防災講演「南海トラフ巨大地震レベル1、レベル2とは」講師：中野晋教授

- ・避難所生活体験：非常食の調理と試食 担当：湯浅助教
- ・マイトイレ紹介
- ・参加者のご意見・感想
- ・終了挨拶 担当：
- ・後片付け

(3) 参加者と募集方法

蔵本地区 計 100 名 教職員 20 住民 50-60 学生 10-20

常三島地区 計 100 名 教職員 20 住民 50-60 学生 10-20

新蔵地区 計 80 名 教職員 20 住民 40-50 学生 10 留学生

自主防災会等を通じた住民参加呼びかけ

- ・常三島地区の住吉・城東地区：金山氏、渭北地区：米沢氏（住吉・城東地区 9/7 了解）
- ・新蔵地区の内町地区：田村先生（内町地区 9/20 了解）
- ・蔵本地区の加茂名地区：米沢氏（加茂名地区 10/5 了解）

学生は災害ボランティアのメンバーに呼びかけ：中野先生

教職員へは安全衛生委員会（各学部の総務か管理係）に参加願い：粕淵

リーフレットの作成（趣旨、訓練内容、大学津波一時避難ビルの所在、等）A4 裏表 1 枚程度、担当：粕淵 7 月前半に作成

自治会へのお願い文 担当：粕淵 7 月前半に作成

学術情報図書課，企画・評価課，学生生活支援課に協力依頼 担当：粕淵

会場

蔵本地区 避難ビル備蓄品確認は体育館、講演・非常食試食は蔵本会館 2 階 多目的室

常三島地区 避難ビル備蓄品確認は体育館、講演・非常食試食は総合科学部 2 号館講義室

新蔵地区 避難ビル備蓄品確認は体育館、講演・非常食試食は日亜会館 2 階 講義室

次回の実施委員会（第 2 回）は 8 月後半で 9 月避難所運営研修会の最終詰めとします

以上

学校施設の防災力強化プロジェクト実施委員会(第2回)議事録

日時:2014年7月16日 10:30-11:30

場所:徳島大学常三島キャンパス内環境防災研究センター

出席者:実施委員会メンバー

徳島大学環境防災研究センター 副センター長 中野 晋

徳島大学環境防災研究センター 准教授 田村隆雄

徳島大学環境防災研究センター 助教 湯浅恭史

徳島市危機管理監危機管理課係長 米沢伸治

日本防災士会会員 金山利勝

徳島大学総務部企画評価課課長 藤本芳樹

徳島大学総務部総務課災害対策アドバイザー 粕淵義郎

徳島大学総務部総務課 西本紘子

検討内容

【1】ポスターとリーフレットの活用方法

住民参加を促すために知育の自主防災会の役員を通じて掲示版や回覧板で周知する方法を検討したが、3キャンパス1km程度の近隣住民に周知するため、徳島新聞に折り込みチラシとして配布することとした。

- ・地域の自主防災会への協力要請は実施することに加えて新聞折り込みチラシを配布する。
- ・来訪人数が読めなくなるので非常食は100食限定することを触れておく
- ・近隣住民に津波一時避難先は徳島大学だけであるとの誤解を与えないために、徳島市が指定する近隣の津波一時避難ビルの所在マップを当日研修会で印刷配布し説明する。

徳島新聞3キャンパス対象販売店6店に徳島大学キャンパスから約1km内の家庭に折り込みチラシを入れたい旨伝え、配達区域を絞っていただいた。

住吉1丁目～3丁目のみ 1300枚

常三島 1530枚

助任前川 吉野本町通り東側 1900枚

徳島 1, 9, 10, 11区のみ 1000枚

蔵本:蔵本、(南嶋田4丁目と鮎食長1, 2丁目を除く) 1000枚

南庄町 700枚

各地区分 200枚ほど余分を見て

常三島地区用に 4900枚

新蔵地区用に 1200 枚

蔵本地区用に 1900 枚 計 8000 枚印刷

各避難所研修会実施約1週間前に入れていただく予定。

【2】ポスター、リーフレット修正点等

非常食に統一

中野先生の講演テーマ「南海トラフ巨大地震に備える」

サイズA4両面「ポスター面横書き」と「リーフレットA4サイズに2ページ印刷」

図のずれ修正

次回の実施委員会(第3回)は8月後半で9月避難所運営研修会の最終詰めとします

以上

学校施設の防災力強化プロジェクト実施委員会(第3回)議事録

日時:2014年8月27日 10:00-11:30

場所:徳島大学常三島キャンパス内建設棟3階303会議室

出席者:実施委員会メンバー

徳島大学環境防災研究センター 副センター長 中野 晋

徳島大学環境防災研究センター 准教授 田村隆雄

徳島大学環境防災研究センター 助教 湯浅恭史(欠席)

徳島市危機管理監危機管理課係長 米沢伸治

日本防災士会会員 金山利勝

徳島大学総務部企画評価課課長 藤本芳樹

徳島大学総務部総務課災害対策アドバイザー 粕淵義郎

支援部門

徳島大学総務部総務課 川上課長殿、樋口係長殿

図書館企画課岩野専門職員殿、宮本係長殿、岩野専門技術員、山本事務補佐員

蔵本分館事務室 藤原久美子殿

工学部事務部 貝出係長殿、

学生ボランティア代表 竹内様

医歯薬事務部 川瀬課長殿

研究国際部国際課 小林課長殿(欠席)

検討内容

【1】3地区の避難所研修運営に関して詳細手順を説明、作業担当者の明確化をお願いした。

- ①140823 避難所研修会実施案.xlsx
- ②避難住民対策班による避難所の説明まとめ.xls
- ③学生さんと事務職員の方に協力お願い事項.xls
- ④地震連動自動解錠「かぎ保管庫.ppt
- ⑤徳大避難所防災備蓄品一覧2014年9月.xlsx
- ⑥非常食券印刷用.xls
- ⑦140818 避難所で困ること.pptx
- ⑧避難所研修参加者名簿とアンケート用紙.xls
- ⑨避難所研修講演試食会場.xls
- ⑩避難所図面4箇所.xls

修正提案

司 会:総務課樋口係長に変更

説明挨拶担当:総務課川上課長 終了時挨拶:総務課川上課長 に変更
体育館に靴を脱いで上がるので各自の靴紛失防止のため靴袋を準備する

雨天に備えて、ぬれた傘用に傘用ビニール袋を準備する
体育館の集合場所が分かり難い為、要所に案内係(徳島大学の腕章を配布)を配置する
中野先生講演配付資料は電子メールで粕淵まで送付いただき、印刷は総務で実施。

学生ボランティアの参加者現時点の見込み

常三島:7名 新蔵:5名 蔵本8名

次回の実施委員会(第4回)は10月5日蔵本地区避難所研修終了後、反省会として実施します

以上

学校施設の防災力強化プロジェクト実施委員会(第4回)議事録

日時:2014年11月11日 13:00-14:00

場所:徳島大学常三島キャンパス内建設棟1階環境防災研究センター

出席者:実施委員会メンバー

徳島大学環境防災研究センター 副センター長 中野 晋

徳島大学環境防災研究センター 准教授 田村隆雄

徳島大学環境防災研究センター 助教 湯浅恭史

徳島市危機管理監危機管理課係長 米沢伸治

日本防災士会会員 金山利勝

徳島大学総務部企画評価課課長 藤本芳樹

徳島大学総務部総務課災害対策アドバイザー 粕淵義郎

支援部門

徳島大学総務部総務課 樋口係長

検討内容

【1】「学校施設の防災力強化プロジェクト」2015年1月24日発表案検討。

検討結果:①チラシ裏面に避難に関する便利情報を掲載し保存してもらおう工夫したこと追加。

②次会訓練開催について、経費は無いが、賞味期限切れ近い非常食の活用を兼ね等、工夫して実施の検討を考える。

【2】「学校施設の防災力強化プロジェクト報告書」印刷案検討

検討結果:①詳細な点の見直しは樋口係長から連絡を受けているのでこれを修正して完成とする。

②報告書配布先と量について

文科省	10部	メール便
徳島市	20	徳島市へ持ち込み
地域自主防災組織 渭北地区(21)	63	(3部配布)メール便
住吉・城東地区 (25)	75	(3部配布)メール便
内町地区 (3)	9	(3部配布)メール便
加茂名地区 (59)	177	(3部配布)メール便
徳島市コミュニティーセンター(4)	12	(3部配布)メール便
徳島市の学校(小31、中15、高1)	94	(2部配布)徳島市教育委員会学校メール利用

関係他大学

国公立 86大学	87	徳島大学トーク配信利用
徳島県内大学高専	5	徳島大学トーク配信利用
徳島県内高校	50	徳島大学トーク配信利用

徳島大学 実施委員、総務課	10	学内メール利用
図書館、蔵本分室、工学部、企画評価	8	学内メール利用
学生生活支援課	1	学内メール利用
支援学生	13	学内メール利用
学長、理事、学内部局	50	学内メール利用
1月24日奈良成果発表会	約 200	会場へ宅急便
総務課予備	10	

合計 900部を目安に印刷配布

今回の実施委員会で最終とします。
委員の方にはご協力ありがとうございました。

以上

(2)アンケート資料

避難所研修アンケート用紙

(常三島地区、新蔵地区、蔵本地区)

無記名も可	性別○		年代に○			
	男性	女性	18歳未満	19-35歳	36-64歳	65歳以上
お名前						
	1	2	1	2	3	4

Q1 大学避難所の建物について(番号に○をつけてください)

- 1 今まで建物がどこにあるか知らなかった
- 2 建物は知っていたが入り口鍵の仕組みは知らなかった
- 3 建物も鍵の所在・仕組みも知って(聞いて)いた

Q2 避難所研修で一番参考になったことは(番号に○をつけてください)

- 1 避難所の建物施設確認
- 2 講演のお話
- 3 マイトイレのお話
- 4 非常食の試食
- 5 特になかった

Q3 水・非常食等の備蓄について(番号に○をつけてください)

- 1 大学の備蓄レベルが分かって、避難の際持ち出すべき物の参考になった
- 2 大学の備蓄量が少ない、市からの補充や大学が備蓄を増やすべきだ
- 3 最低限の備蓄があることを知って安心した

Q4 非常食を食べてみて

選択した非常食は(番号に○をつけてください)

- 1 A:白飯
- 2 B:カレーピラフ
- 3 C:お粥
- 4 D:パン

味はどうでしたか(番号に○をつけてください)

- 1 美味しい
- 2 並の味
- 3 美味しくない

Q5 大学の避難所施設に対し、ご意見や感想がありましたらお書きください

--

2014年8月7日 常三島地区アンケート集計結果

	性別	年代	Q1	Q2	Q3	Q4-1	Q4-2	Q5
1	1	4	2	2	3	2	1	非常に参考になった。今後も地域に貢献してほしい。カレーを頂きましたがよかったと思います。
2	1	4	2	3	3	1	1	説明でよく分かりました。備蓄品をもう少し増やしてほしい。大学内が広いのと清潔なので、安心と感心しました。又、実施訓練をしてほしいと思います。毎年、講習をしてはと思う。
3	2	4	2	1,2	1	1	2	東の道から避難所すぐ入れますので安心いたしました。
4	2	4	2	2	3	1	2	
5	2	4	1	1	3	1		
6	2	3	2	1,2,3,4	1	1	2	ごはんが固かった。(湯の量が少なかった。)
7	2	4	3	2	3	1	2	
8	1	4	2	2	2	1		
9	2	4	2	1	1	1	3	水の備蓄量が極端に少ないように思います。缶詰だけ普通の味。
10	2	4	1	1,3	1,3	1	1	広い場所でのマイクの声が非常に判りにくかった。(研修の前に)。
11	2	3	2	1,2,3	1	1	2	
12	2	4	1,2	1,2,3,4,5	3	1		
13	2	4	2	1	2	1	1	個別のトイレ、シャワー等利用できるとのこと、心強いです。
14	2	4	2	1,2	3	1	1	
15	1	3	2	1,3	1	1	2	ご飯が少しかたい。震度5になるとキーボックスが開くようになっているのは良いと思う。夜避難した時、教室もあいていると良いと思う。
16	2	3	3	3	3	2	1	
17	2	3	2	1	3	2		
18	1	3	1	1	1,3	2	1	腰や目の悪い母がいるので別ルートになって職員さんにごめいわくをおかけしました。(めずらしい体験で)
19	2	4	2	1	1	2	1	職員さんに説明していただいた大変いい勉強になりました。
20	2	4	1	1,2		1		本日この集まりに参加して非常に有難いと思いました。Q2のところはどれも○をつけたいと思う程です。この日を境に意識して非常食、水の確保をして消費して行こうと思います。こんな体験をさせて頂いて本当にありがとうございました。
21	2	3	2	1,3	1	1	1	試食はカレーピラフを食べました。
22	1	3	2	3	1	2	1	ハンドマイクでの解説説明がありましたが、音声割れて聞き取れない。特に後方では聞き取り不可。
23	1	3	1	1	3	3	1	
24	1	3	2	1	1	2	1	今回の研修(・建物施設の確認、・講演のお話)ともに良かったです。震災の際頼りになることが分かりました。
25	2	3	2	1,2,3,4	1	2	1	今回とてもいい体験ができて良かったです。近所に住んでいながら、建物の中へ入ることなかったのです(来ないことを望みますが)の為にとても参考になりました。暑い中ご説明ありがとうございました。
26	1	4	2	1	2	3	1	
27	2	2	2	1,3	3	4	1	トイレの個室がたくさんあると聞いて便利だと思いました。備蓄も少ししてくださいときいてありがたいです。夜だと道に迷ってしまわないか少し心配です。(工学部の建物の方)
28	2	3	1	2	2	3	1	
29	1	3	2	1,2,3,4	2	3	2	真剣に取り組んでおられる事がわかって安心した。最近の大雨、特に堤防(吉野川だけでなく助任川も)がきれた場合の浸水対策等も考えておいた方がよい、と感じた。
30	1	3	2	1,2	3	3	2	
31	1	3	3	4		3	1	体育館、講義棟が授業中の時は学生が席を譲ってくれるのか?説明で避難人数の説明は有ったが非常食で何人分(何食分)を用意しているのか説明なかった。夜間用として非常灯がほしい。
32	2	2	2	1	1	3	2	
33	2	4	1	3	2	2	1	
34	2	2	2	1,2,3	1,2,3			
35	2	3	2	1,2,3,4	1,3	4	1	
36	2	4	2	1,2,3,4	1,2,3			
37	2	4	2	1,2,3,4	1,3	3,4	1	自分居住している地域にも津波避難ビルは、何棟ありますが、いざその時になってそこに避難できるか不安があった。大学側がここまで対応して下さっているとは思わなかった。ちょっと安心した。私はある団体に所属しており、防火関係に取り組んでいます。今回は大学でのお取り組みについて感謝致します。ありがとうございました。又、玄米がゆ等期限切れのもので玄米がゆようかん等にして食べました。おいしいです。Q4,Q5について私も備蓄して最近賞味期限切れもの試食したばかりです。結構おいしかったです。
38	2	4	2	1	1	4		大学に避難を希望しておりましたので良かったです。70年大学の前で過ごしておりますが少し離れた所に行きましたので。
39	2	4	1	1	3	1	1	
40	1	2	2	1	3	3		試食までさせてくれるというすごいサービスがあって、お金かけたなと思った。学生やスタッフの態度はよかった。むしろ助ける側だと思うので力になれるらいいと思う。
41	1	3	1,2,3	1,2	1,2,3	3		
42	1	4	1	1,2	2	4		床に敷物を考慮してほしい
43	2	4	1	1,2,3,4	2	4		本日見学させていただいてとても安心しました。自分の命は自分で守らなければならないので日頃色々の事を考え行動しておく事が大切だと思いました。
44	1	4	2	2,3,4	1,2	4	2	良い研修会でした。私の町内会(住吉2丁目南町内会)では徳大が唯一の頼みです。町内会向けの研修会をお願いできたら有難いです。よろしく検討ください。連絡先 Tel.653-1533 町内会長 笹倉
45	2	3	1	1	2	3	2	建物へ入るかぎのことがよく分からなかった。1人があげたら元の場所へかぎを戻すというのは不可能ではないか。1人があげたらあとみんなそのまま入れるのではないかとわからなかった。次回もっとわかりやすく願いたい。

2014年8月7日 常三島地区アンケート集計結果

46	2	4	1	1	2	4	1	共通講義棟のカギ保管庫ですが、1Fと3Fに設置していただければありがたい。
47	1	4	2	1	3	4	1	トイレの水が使用できないのはこまる。
48	1	4	1	2,3	3	1	2	
49	1	4	2	1,2	1	1		今回の講義は大変参考になりました。自分の命は自分で守らねばならない、おちついて早く行動しなければならないことがよくわかりました。
50	2	4	1	1	1	2		
51	2	3	1	1,2,3,4	1	2	1	近くにあり良かったと思っている。又、してほしいと思う。大ぜいの人が集まり、関心が深い事が、よくわかりました。
52	1	4	2	1	3	2	2	非常時で有るので多少の不便は大丈夫。先ず自分の命は自分で守るべく心掛ける。非常食は持ち帰ります。
53	2	4	3	2,3,4	1	1	1	足が不自由なためエレベータを使用しました。もっと多くお願いしたい。
54	2	4	1	1,2	1,3	1		年よりなので大学は少し広くて大変困った。
55	1	3	2	1	1	1		夜の場合、水銀灯はだれがつけてくれるのですか。(体育館)
56			2	1	3	2		足の悪い人は階段はきついと思う。
57	1	3	2	1	1	4	1	非常にしっかりとした建物だと思いました。
58	2	3	1	1,2	2	4	1	共通講義棟の感震BOXを3階に設置しなおしてほしい。
59	2	4	2	2,4	3			
60	2	3	2	2,3	2	4	1	
61	2	4	2	1	2			
62	1	4	2	1	2			マットの備蓄が少ない、公的に増やすべきだ。
63	2	4	3	2	3	2		住吉なのでここまで来るまでの関門を今後研究しておきたい。近くの避難場所を決めておくことが最善だろう。講義わかりやすくよかったです。
64	1	4	2	2	1			
65	2	4	2	1	3	3	2	
66	2	4	1	1	2	1		避難所としてしていただけたらありがたく思います。よろしく願います。
67	2	4	1	1,2	2	4	2	家からの距離が遠いので無理と思います。
68	2	4	2	1,2,3	3			
69	2	4	2	1,2,3	1,3			
70	1	4	2	1,2	3			知人等に同じ研修を受けさせてあげたい、再び同研修が実施されることを希望します。
71	2	4	2	2,3	1	4	1	
72	2	4	1,2	2	2	4	3	
73	2	4	2	1,2,3	2	3		大学が避難所施設であることは大変心強いが住吉の町民として橋が大丈夫かどうか心配です。もしこの周辺で地震にあった時の為に今日の体験は非常に良かった。
74	1	4	1,2	1,2	2			
75	2	4	2	2,3	2			
76	1	4	3	1	1	2		①まず良好と思いました。②自分で少しでも準備しておきたいと思いました。

2014年8月20日 新蔵地区アンケート集計結果

	性別	年代	Q1	Q2	Q3	Q4-1	Q4-2	Q5
1	2	3	2	1,2	3	2	1	
2	1	3	2	1	1	2		
3	2	3	2	1	1	4		
4	2	3	2	2	1	4		時々このような企画をお願いします。
5	2	3	2	2	2	2		
6	2	2	1	2				大学の備蓄量がよく分からなかった。
7	2	2	2	3,4	3	4	1	マイトイレの作り方を知って良かったです。やはりいつも心配ですが、自分の命を守る方法は非常に勉強になりました。
8	2	2	1	1	3	4	1	前は避難所がわからなかった。もし、地震が来たら、どうするでしょうと考えて、今回はいろいろ教えてもらって、本当に良かったと思います。
9		3	2	1,3	2			
10	2	3	1	2	1	2		
11	1	1	2	1	2	4		
12	2	4	2	1,2	3	1		
13	1	3	2	1	3			
14	1	3	2	1	3	2		南側も出口を設置してくれたらと思います。
15	1	3	3	2	1	2		
16	2	4	2	1,2	1,3			
17	2	1	2		3	4		
18	2	3	3	2	1	4		
19	1	4	3	1	3	2	2	
20	1	3	3	3	1			地域のために取り組んでいる事に感心した。
21	2	3	3	2	2	4		・鍵ボックスが震度5強でないと開かないということが、心に引っかかっています。「津波に遭うかも・・・」という切羽詰まった心理状態の時には、より安全な所へ避難していきたいのが人情ではないでしょうか。 ・弱い揺れのときでも、こうした避難を繰り返して「逃げ癖」をつけておいたら、良い訓練にもなるかとも思うのですが、いかがでしょうか。 ・今日はいろいろなことが勉強になりました。 今後ともよろしく
22	1	4	2	1	3			夜中の避難所の停電でエレベータが使えないと足が悪くて階段歩きの無理
23	2	4	2	1	3	2	2	
24	1	3	2	1	3	4	1	
25	2	3	2	1,2	3	4		入口の鍵は外でよいが、室内、保管所の鍵は、建物内になって良い？
26	2	4	2	1,2,3	1,3			ありがとうございました。少し安心しました。
27	2	4	2	1	3			
28	2	4	1	1	1,3	2		大学が身近に感じました。
29	2	3	2	2	2			大学の前によく分かるように避難所を示す看板などを立てていただけたら
30	1	4	3	2	2	1		近所にこの施設があって良かったと思いました。
31	2	4	2	1,2	2	2	2	
32	2	4	2	1,2	3	4	1	
33	1	3	3	2	3	2	2	
34	2	1	2		3	4		
35	2	3	2	1,2	3	4		
36	2	1	2	2	3	4	2	
37	1	3	3	2	3	2	2	
38	1	3	2	2	1	2	1	
39	1	2	3	2,3	1			
40	2	4	2	2	1	4		
41	1	4	2	1	1	2		避難所の開設ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。通常時にされているのかどうか分かりませんが、会議室等の借用は空いていればできるだけでしょう
42	2	3	1	1,2,3	1,2			入口のガラス張りが気になりました。耐震がどれぐらいなのかと思いました。先生方のお話を聞いて改めて準備をしなければならないことがたくさんあるとわかったので、地震に備えて準備したいと思いました。
43	1	3	2	1	1			
44	1	4	2	1	1	1		
45	2	4	3	2	3	2		ありがとうございました。
46	2	4	2	1,2	1	1		大変安心しました。
47	1	4	2	1	1	1		
48	2	4	2	1	2	2		
49	2	1	2	1	1	2		
50	2	4	2	2	1	4		
51	1	3	2	3	1			
52	1	2	2	1	3	1	2	
53	2	3	2	1	2	4	2	
54	1	3	2	1	3	4	2	
55	1	4	2	3	1			
56	2	4	2	3	1	1		
57	2	4	3	2	3	2		
58	2	4	3	2,3	3			
59	1	4	3	2	1	2		大学が地域のために、今回のような催しをしていただいたことに感謝します。大変参考になりました。

2014年8月20日 新蔵地区アンケート集計結果

60	1	3	2	2	3			
61	1	3	2	2	3			
62	2	4	3	3	2			
63	1	4	3	2	1	4		
64	2	3	2	1,2,3	2	2		集合住宅の住民も避難してくるので、備蓄は多い方がよい。

2014年10月5日 蔵本地区アンケート集計結果

	性別	年代	Q1 建物	Q2 参考	Q3 備蓄	Q4-1 非常食	Q4-2	Q5
1		4	1	1	3	2		
2	2	4	1	2	3			
3	2	3	1,2		2	4		
4	1	3		1	2			鍵の仕組み？
5	1	4	2	2				
6	2	4	2	2	3			
7	1	4	1,2	1,4				
8	1	4	1	1,4	2	3	2	トイレが日本式なので高齢者にはしゃがむのは厳しい。 水(飲料水)の保存の方法
9	2	4	1	1	2			
10	1	4	1	1	1			
11	1	4	1	1	1			大学の近くに住みながら自分の要件の場所へ直行するのみで、今日のように各避難場所経路を初めてして少し安心しました。此の度の計画は非常に適切であり、参加は意義があったと思います。主催者に対して心から感謝致します。有難うございま
12	2	4	1	1,2,3	2			
13	2	4	1	1,2	3	2	2	
14	1	4	1	1	3	2		
15	2	4	2			2		
16	2	4	2	1	3			
17	2	4	1	1	3			
18	2	4	2	2,3,4	1,3			
19	2	4	1	2	1	3		
20	2	4	2	1	1,2			
21	1	4	2	2	3	3		帰って食べてみます。お世話になります。
22	1	4	1	1	1	2		
23	1	4	1					地区外です
24	1	3	2	3	3			
25	2	3	1		3	4		参加させていただいて、いろいろと参考になった点もあり、まだまだ不安な所もあるので、こういう会をたびたび開いていただけると幸いです。
26	2	4	1	2,3	2	4		体育館が雨もりしているのにビックリ。小学校や中学校より避難所施設を用意するぞという意識が明確で私達の覚悟もハッキリしてきました。
27	2	4	1	1	2	2	1	
28	1	4	1	1,2,3	1	2	2	
29	1	4	1	1,2,3	2	2		
30	2	4	1	1	2	1		避難が必要な事態になったら、まず徳大の体育館へ、と家族にも共通理解をしています。「方々の避難所が満員になったら次策に開放する」という姿勢は、問題です。事前の家族間の申合せはどうすれば良いのでしょうか。
31	1	2	1	2	1	4		
32	2	3	1	2	1,2	2		
33	2	3	2	3	1	4		
34	2	3	2	2	2	3		・大学避難所施設が災害時に開いているか、自分がそこに行っても大丈夫か等、情報はいつでもどこからどのように流れてくるのか。情報収集の方法を住民が知っておく必要があると思います。 ・大学の方が指定避難所より近い人は、まず大学に避難したいと言っていました。 ・大学の体育館は2階で階段があるので、要援護者は1階になってしまう。(今日も高齢の方が多く参加しました) ・非常食・水が少ない、しかも学生の分も含むとの説明があった。皆不安そうでした。 ・大学体育館のトイレが和式である。足腰の不自由な方は使用できないように思います。 ・避難場所、避難経路を知らない人も多くいるようでした。 ・教員ももっと現状を知り、このような訓練に参加しなければならぬと思いました。
35	2	3	2	2	1	3		足の悪い母がいるので家から近い大学が避難所で安心しました。でも、トイレは洋式でないといけないので非常時のトイレも洋式のトイレを用意して欲しい。
36	2	4	2	1	3	1		大学が家から近くて安心しました。自分でもこれそうでありがたいなと思いました。
37	1	4	2	1	3	4		
38	2	4	2	2	3	1		
39	2	3	1		1	4		
40	2	4	2	1,2,3	3	4		
41	1	3	1	2				蔵本近辺に住んでいる人にとっては徳島大学が災害時に受け入れを検討してもらえると有難いと思う。
42	2	4	2	2	1			
43	1	4	1	3	2	3		大学の避難所の鍵は非常時には、開けておいてください。
44	2	4						
45	1	4	1	2	2			
46	1	3	2	2	2	4		
47	1	4	2	2,3	2			
48	1	4	2	1,2	1	4	3	
49	1	4	1	2	2	2		
50	2	4	2	2	1	4		ちょっと拝見したところ大変かつちりした建物の体育館で頼もしく思いました。よろしくお願ひします。
51	2	4	2	1,2,3				この大学が安全である事がよく分かりました。
52	1	4	3	1,2,3	2			
53	2	3	1	2	3			
54	2	3	1	1	3			

2014年10月5日 蔵本地区アンケート集計結果

55	1	3	1	1,2	2			耐震性はあるとの事ですが？古い！！(Q11について)体育館らしくなかったので分かりませんでした。
56	1	4	1	2	2	4	2	
57	1	3	1	1,2	2	2		
58	1	4	2	4	2	1	1	
59	1	4	2	2,3	1			自宅から遠いです。
60	1	4	1	1,2	1,2	2		研修会の実施は大変勉強になりました。 ◎防災は全て自己管理が第一であることを再認識しました。
61	2	4	1	1	1			
62	2	4	1	2	3			
63	1	4	1	1	2			市からの指示が有ってからの避難では無く、直接来ても入所出来る様にすべきであ
64	1	3	2	2	1	2		
65	1	4	2	2	3	2		市の要請がなくても開放してほしい
66	1	4	1	2	3	2		たいへん参考になりました。
67	1	3	1	2	1	2	1	
68	2	4		1,2				
69	2	4	1	1	2	3		今回の研修会を知りとても参考になった。市の要請との連携という事で市民としてはとても心強いです。講演もビデオをまじえながらとても参考になった。気持ちの良い会場で行き届いた運営でありありがとうございました。
70	1	3	2	2	3	3		会議室等研究施設以外はできるだけ開放してほしい。基本的に個々が自主的に知恵を絞り自分の身は自分で守るべきである。
71	2	4	1	2	1	2		
72	2	4	1	1,2,3	4			
73	1	4	1	1	1	2		
74	1	4	2	2	1			
75	2	4	2	1,2,3	1	4		
76	2	3	2	2	2	4		市立の小学校や中学校レベルで避難所になってほしい。体が不自由な人もいるので自宅により近い所に避難できればいいと思います。
77	1	4	2	1,3	2			避難所開設について市からの指示となっているが、我々も病院患者さん等の食料等の補給協力ができるかも。65才以上が7割の中での避難ですから近い所に避難したい。今後訓練を共にできれば。本日はありがとうございました。今後ともよろしくお願
78	2	4	2	1	1	2		
79	2	4	2,3	1,2,3,4	1,3	3		
80	2	4	2	1,2	1,2	2		
81	2	4		1,2	1,2	2		質問が出た件ですが、距離の問題ではないでしょうか？徳大が一番近いので出来れば第一選択にならないかという意味(希望)ではないでしょうか？
82	2	4	1	1,2	1	4		自分の事は自分で最低限の(カクゴ)しました。大学にたよるのはいけません。

徳大の津波(一時)避難ビルを見てみよう

徳島大学(常三島地区)避難所研修

9/7日 11:00-13:00 (受付/10:30から)

集合場所

体育館 東階段前



研修内容

- 避難所見学と施設等説明
- 防災講演「南海トラフ巨大地震に備える」
講師/中野 晋 教授
- 避難所生活体験：非常食の試食
→ 非常食は先着100名様のみとなります
- マイトイレ紹介

徳島大学の津波（一時）避難ビル どこにあるの（常三島キャンパス）



南海トラフ巨大地震で、津波避難する時 知っておきたいこと

- 1 緊急地震速報を聞いたら、頭を保護して身を守る
- 2 揺れが2～3分続いたら、南海地震
- 3 大津波警報は5分程度で発令される、最悪のケースに備えて津波避難準備しよう
- 4 避難準備と移動にかかる時間は

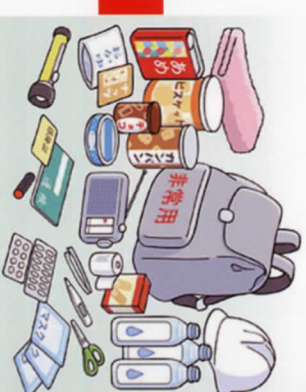
- ・自宅内の家族安否と非常持ち出し品準備で10分
- ・地震被害で救出・負傷手当なら更に20分ほど
- ・徒歩避難は500m 先で約10分、1km 先で約20分
- ・自転車避難なら1km 先で約10分必要

→ 津波避難先は距離を考えて家族と話し合っておく

5 津波（一時）避難ビルに持ち出したい荷物（1、2泊を覚悟）

- ・財布、日常の薬、めがね、預金通帳、健康保険証、運転免許証、印鑑、家・車の鍵、携帯電話（充電器）、懐中電灯、防寒具（寝袋代わり）、水（2L）、食料（パン・菓子）、歯ブラシ・歯磨き、着替え、ティッシュペーパー
- ・高齢者用品（持病薬、着替え、おむつ、入れ歯）
- ・赤ちゃん用品（粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、着替え）
- ・女性用品（生理用品、鏡、ブラジャー、化粧品）

※非常持ち出し袋に準備しておこう



徳大の津波(一時)避難ビルを見てください

徳島大学(新蔵地区)避難所研修

9/20日 11:00-13:00 (受付/10:30から)

集合場所

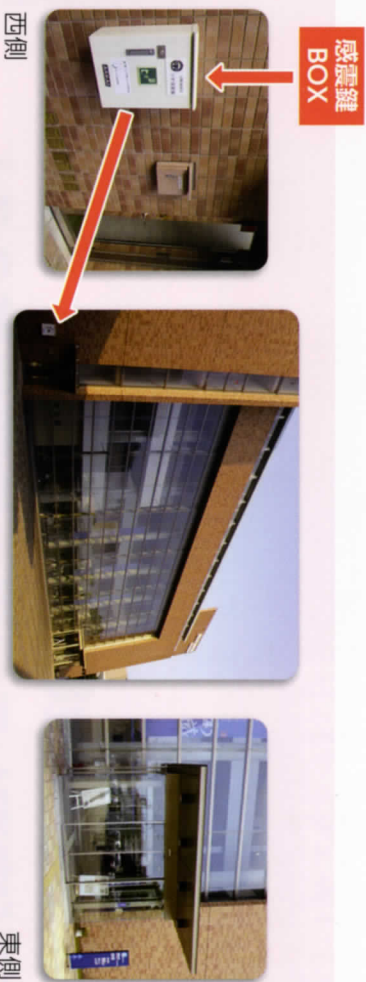
日亜会館 正面玄関前



研修内容

- 避難所見学と施設等説明
- 防災講演「南海トラフ巨大地震に備える」
講師/中野 晋 教授
- 避難所生活体験：非常食の試食
→ 非常食は先着80名様のみとなります
- マイトイレ紹介

徳島大学の津波（一時）避難ビル どこにあるの（新蔵キャンパス）



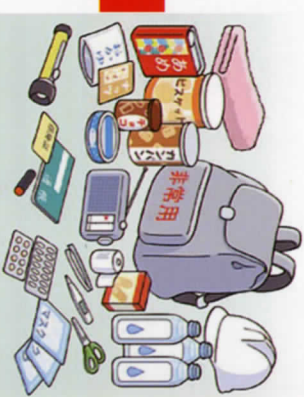
南海トラフ巨大地震で、津波避難する時 知っておきたいこと

- 1 緊急地震速報を聞いたなら、頭を保護して身を守る
- 2 揺れが2～3分続いたら、南海地震
- 3 大津波警報は5分程度で発令されるが、最悪のケースに備えて津波避難準備しよう
- 4 避難準備と移動にかかる時間は
 - ・自宅内の家族安否と非常持ち出し品準備で10分
 - ・地震被害で救出・負傷手当なら更に20分ほど
 - ・徒歩避難は500m 先で約10分、1km 先で約20分
 - ・自転車避難なら1km 先で約10分必要
- 5 津波一時避難ビルに持ち出したい荷物(1,2泊を覚悟)
 - 津波避難先は距離を考えると家族と話し合っておく



- ・財布、日常の薬、めがね、預金通帳、健康保険証、運転免許証、印鑑、家・車の鍵、携帯電話(充電器)、懐中電灯、防寒具(寝袋代わり)、水(2L)、食料(パン・菓子)、歯ブラシ・歯磨き、着替え、ティッシュペーパー
- ・高齢者用品(持病薬、着替え、おむつ、入れ歯)
- ・赤ちゃん用品(粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、着替え)
- ・女性用品(生理用品、鏡、ブラシ、化粧品)

※非常持ち出し袋に準備しておこう



徳大の避難所蔵本体育館を見てください

徳島大学(蔵本地区)避難所研修

10/5日 11:00-13:00 (受付/10:30から)

集合場所

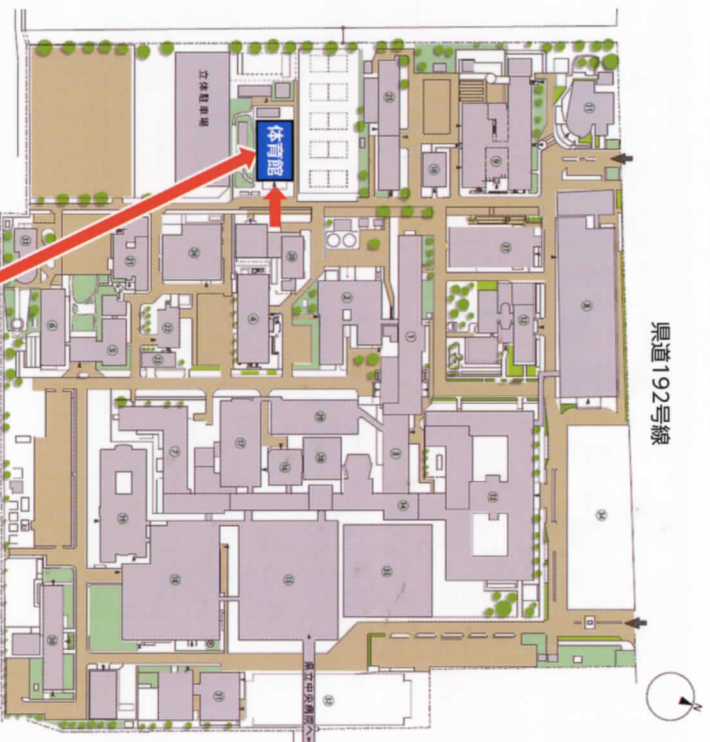
蔵本体育館 玄関前



研修内容

- 避難所見学と施設等説明
- 防災講演「南海トラフ巨大地震に備える」
講師/中野 晋 教授
- 避難所生活体験：非常食の試食
 - ➔ 非常食は先着100名様のみとなります
- マイトイレ紹介

徳島大学の避難所蔵本体育館 どこにあるの(蔵本キャンパス)



体育館
2階入口
1階入口

問合せ / 徳島大学総務課 TEL:088-656-7009

南海トラフ巨大地震で、避難時 知っておきたいこと



- 1** 緊急地震速報を聞いたら、頭を保護して身を守る
- 2** 揺れが2～3分続いたら、南海地震
- 3** 揺れが収まったら、屋外に出て近所の様子を確認
(火事・ガス漏れ・自宅の損傷・近隣家屋の倒壊)
→ 声を掛け合って負傷者の救出支援、消火
- 4** **今夜、自宅就寝が困難な場合(倒壊/余震で倒壊の危険)**
→ 徳島市では台風・土砂災害などの災害時に以下の順番で避難所を開設しています。ただし、大規模な地震が発生した場合は、この限りでなく、施設の安全などが確認された後に避難所として開設します。
① コミュニティセンター → ② 市立の小・中学校 → ③ その他の公有施設 → ④ その他の公共施設 → ⑤ 民間施設
※ 徳島大学蔵本体育館は上記で言えば、④の施設となります。
※ (避難所の収容人数を越えた場合等に開設されません。)

5 避難所への移動前に

自宅の電源ブレーカ遮断、ガス・水道の元栓遮断、家の鍵

6 避難所に行く時、持ち出したい荷物 (当面 1、2泊を目的に)

- ・ 財布、日常の薬、めがね、預金通帳、健康保険証、運転免許証、印鑑、家・車の鍵、携帯電話(充電器)、懐中電灯、防寒具(寝袋代わり)、水(2L)、食料(パン・菓子)、歯ブラシ・歯磨き、着替え、ティッシュペーパー
- ・ 高齢者用品(持病薬、着替え、おむつ、入れ歯)
- ・ 赤ちゃん用品(粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、着替え)
- ・ 女性用品(生理用品、鏡、ブラシ、化粧品)
- ・ ペットは屋外係留の準備

※ 非常持ち出し袋に
準備しておこう



「南海トラフ巨大地震に備える」 地震の時、あなたはどうしますか？

徳島大学環境防災研究センター
副センター長・教授 中野 晋

内容

- * 南海トラフ地震はなぜ起こるの？
- * 私の街ではどんなことが起こるの？
- * 今、南海トラフ地震が発生したら、どうすればいい？

南海地震はなぜ起こるの？

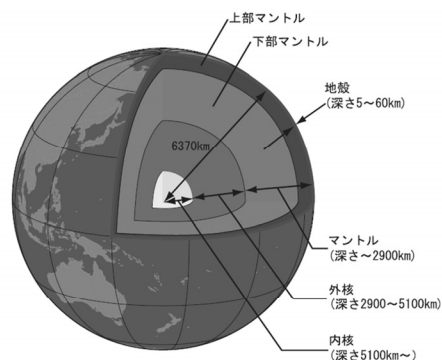


図1-1 地球内部の模式図
地球は、表面から中心に向かって地殻、マントル、核の順に分布している。

気象庁パンフレット「地震を知る」より

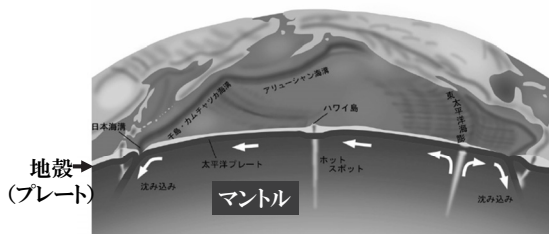
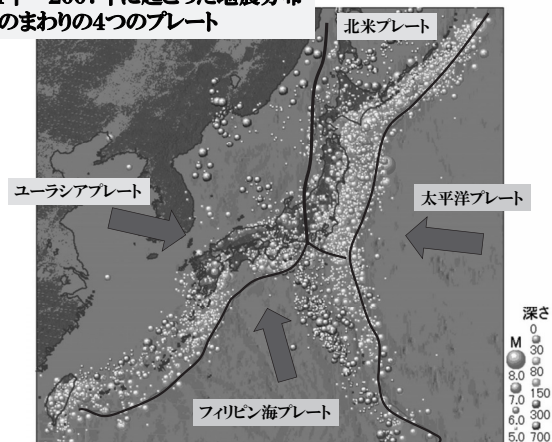


図1-2 プレート運動の模式図 (太平洋の断面)
海嶺で生産されたプレートは、やがて陸のプレートに衝突して沈み込む。

気象庁パンフレット「地震を知る」より

1924年～2007年に起こった地震分布 日本のまわりの4つのプレート



気象庁パンフレット「地震を知る」より

震度は揺れの強さ

- 震度0
 - 震度1
 - 震度2
 - 震度3
 - 震度4
 - 震度5弱
 - 震度5強
 - 震度6弱
 - 震度6強
 - 震度7
- の10段階
震度計で測定

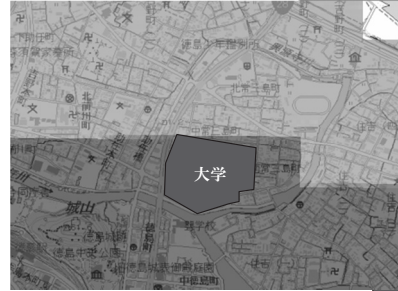


耐震性が高い



耐震性が低い

私たちの街の震度は？

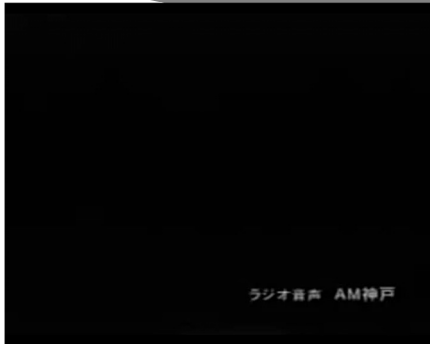


震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱

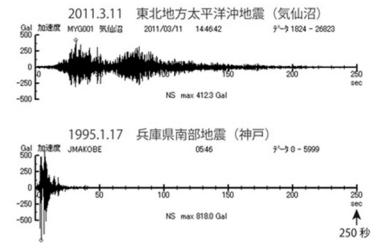
震度6強～7

震度6強～7って 阪神・淡路大震災の記憶

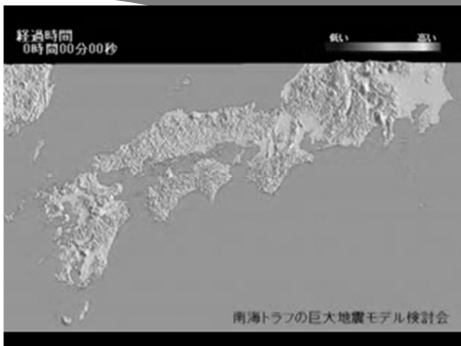


揺れている時間

兵庫県南部地震は15秒
東北地方太平洋沖地震は150秒



南海トラフ地震の津波シミュレーション (中央防災会議・CASE3)



南海トラフの巨大地震モデル検討会

私たちの街の津波は？



浸水深(m)
10.0 ~
5.0 ~ 10.0
4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3

2~3m

浸水深2～3mって (釜石市役所前の映像から)

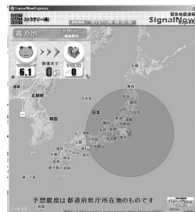
この動画には、地震・津波・火災などの衝撃的な映像が含まれています。
精神的なストレスが生じる可能性もありますので、ご注意ください。

Warning: The following footage contains graphic content
(including images of devastation caused by earthquake, tsunami and fire)
that some individuals may find emotionally disturbing.

今、南海トラフ地震が発生したら どうしたらいい？

緊急地震速報を活用しよう

- * テレビやラジオ放送から
- * 携帯電話から
- * 家庭用津波地震警報機から
- * 徳島市防災ラジオに申し込む
- * PC用緊急地震速報ソフトウェアの利用



Y社 EWR200
(1台あたり、4000～5000円)

津波から逃げる

◎渭北・渭東地区の場合はあわてずに、地震から30分以内を目標に3階以上の高いところに避難しましょう。

ポイント①：避難場所と避難経路は複数用意。

ポイント②：家族の中で昼間と夜間の避難方法を決める。

大切な3つのすばやい行動

1. 緊急地震速報がなったら、安全姿勢(頭をまもる)
2. 1分以上揺れたら、迷わず避難。
近くのビルの3階以上に避難
3. 6時間は避難場所で待機

各家庭・事務所で災害用備蓄も！

- * 徳島県全域で大きな被害が発生
- * 水・電気は1週間以上使用できない

(断水率)	直後	92%
	1日後	73%
	1週間	56%
	1月後	22%
(停電率)	直後	98%
	1日後	72%
	4日後	47%
	1週間	38%



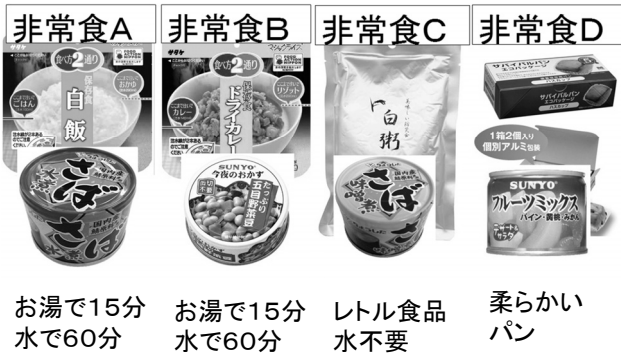
避難所で困ること



蔵本体育館2階見学台に防災備品保管



非常食の特徴



マイトイレの作り方

著作: 和歌山大学防災研究教育センター

1、新聞紙全紙を二枚用意します。



2、重ねた新聞紙を二つ折りにします。



3、重ねた新聞を半分に折ります。



4、さらに半分にします。



5、重ねた新聞の角を頂点に三角形を作ります。裏の面も同様に三角形を作ります。



6、三角屋根の家のような形ができたなら中心に向かって折り平らな状態にします。



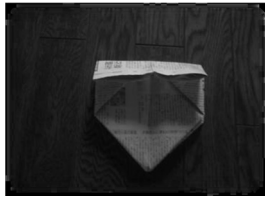
7、頂点を下にします。



8、両端を中心に向かい折ります。表面も同様に。



9、上部分を折りたおします。裏面も同様に



10、広げたら箱のようになります。



7

11、そこにペットシートを敷き、ナイロン袋をかぶせて出来上がり。



お買得96枚



モシとニオイをしっかりガード！
ユニチャーム デオシート
M レギュラー 96枚

商品コード: 182008
販売価格: 1,120円(税込)



テストでは250ccの水も
らくらく吸収しました

お買い物ポリ袋: 大サイズ(横幅30cm マチ15cm)

8

いざという時に...

さっと取り出し、さっと使える



スマートエアマット

どこでも眠る

1分で完成!!!



BEFORE 《空気注入前》



約70 x 300cm

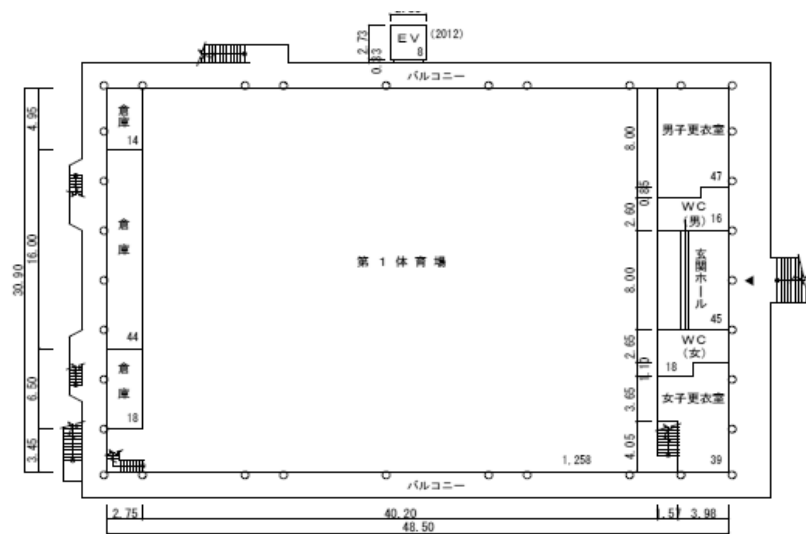
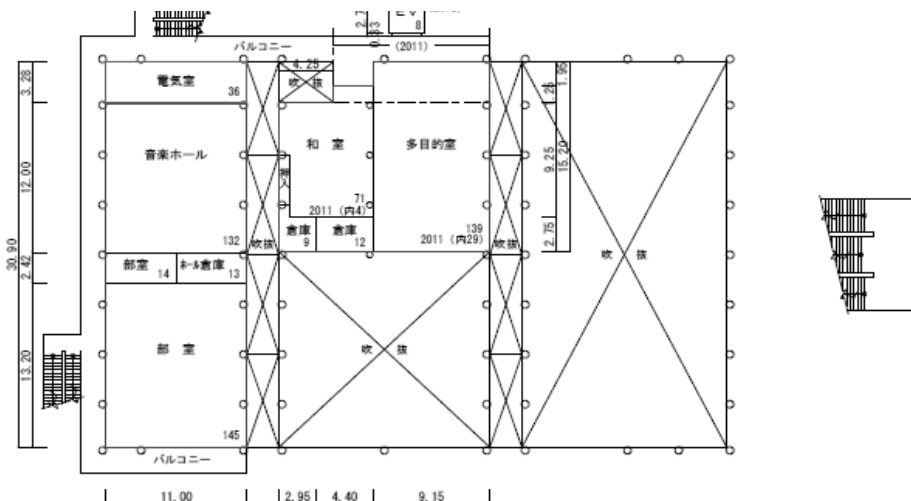
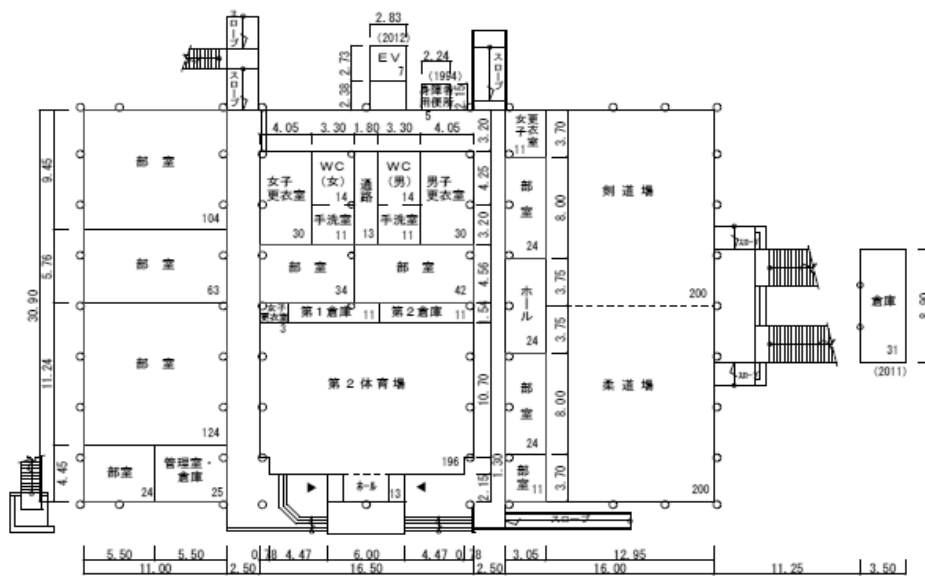
AFTER 《空気注入後》



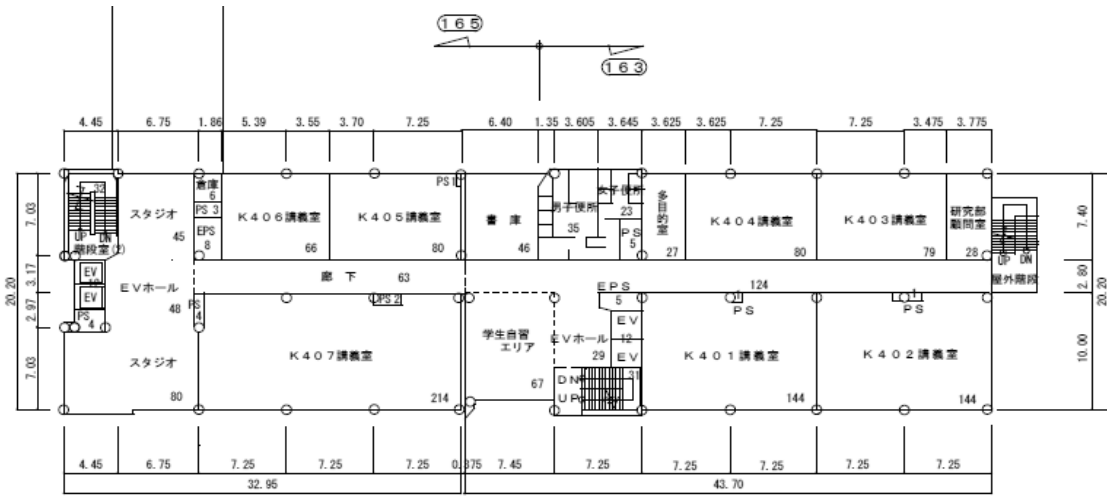
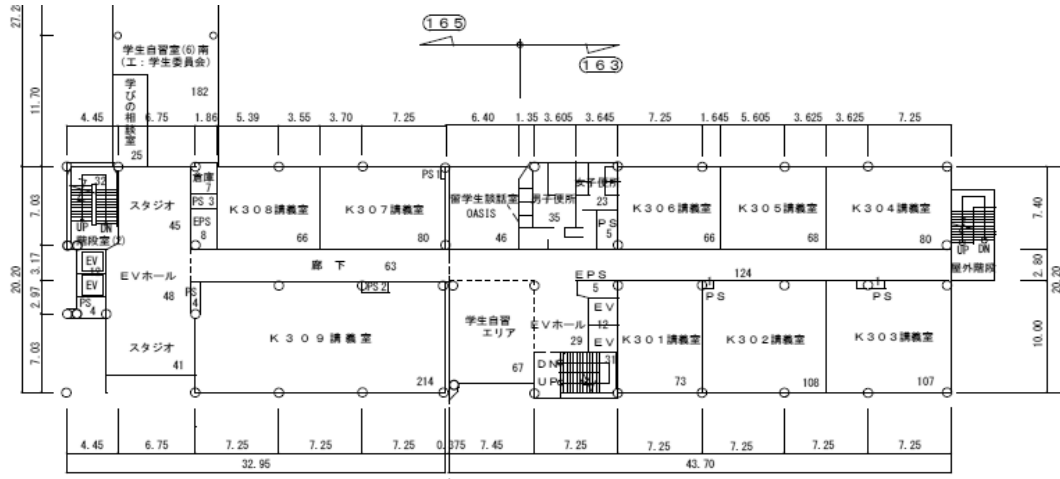
約65 x 200 x 2.5cm

(6) 避難所施設のレイアウト図

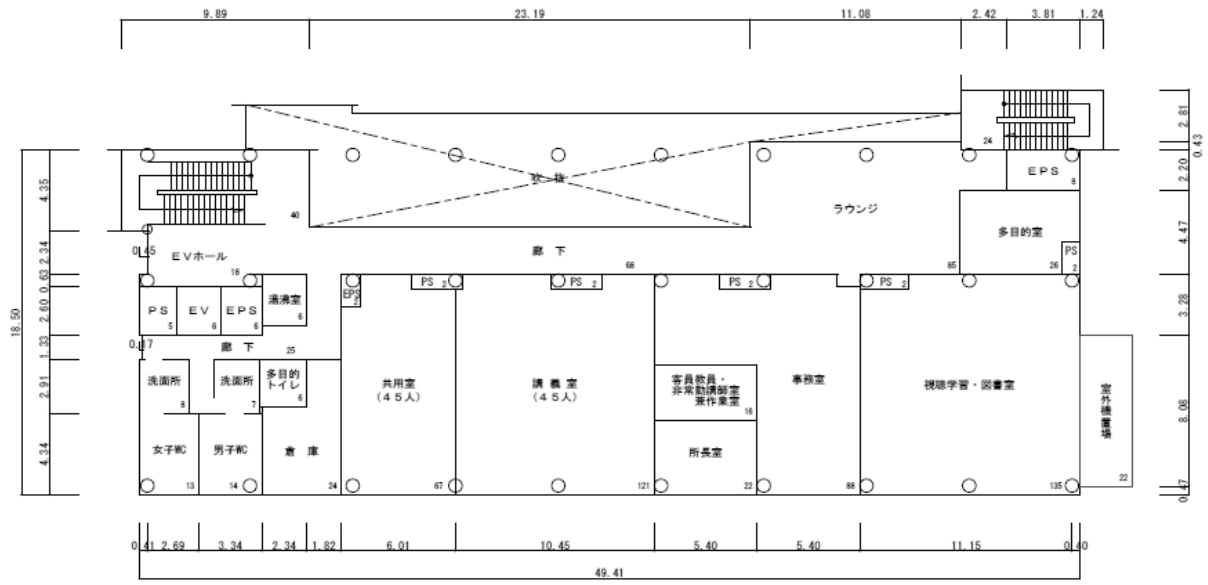
常三島体育館



常三島共通講義棟



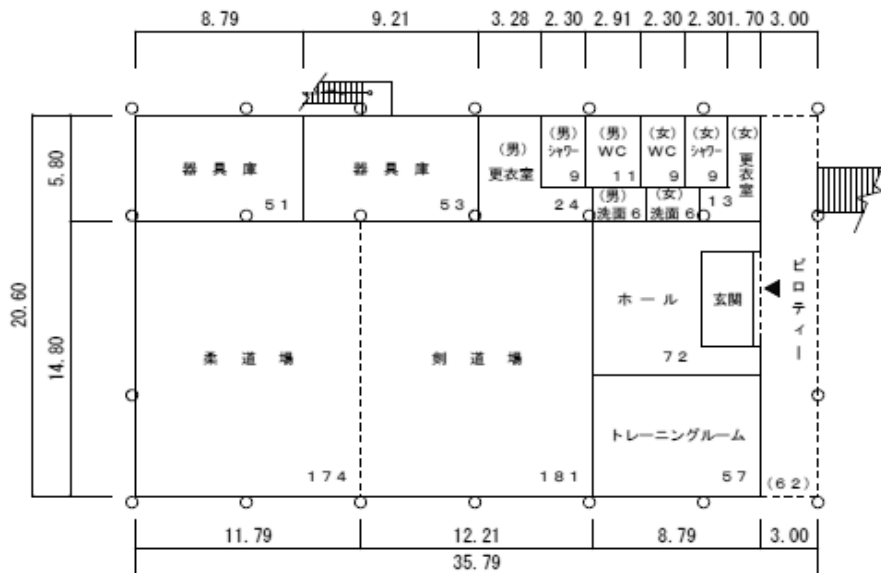
新蔵日亜会館



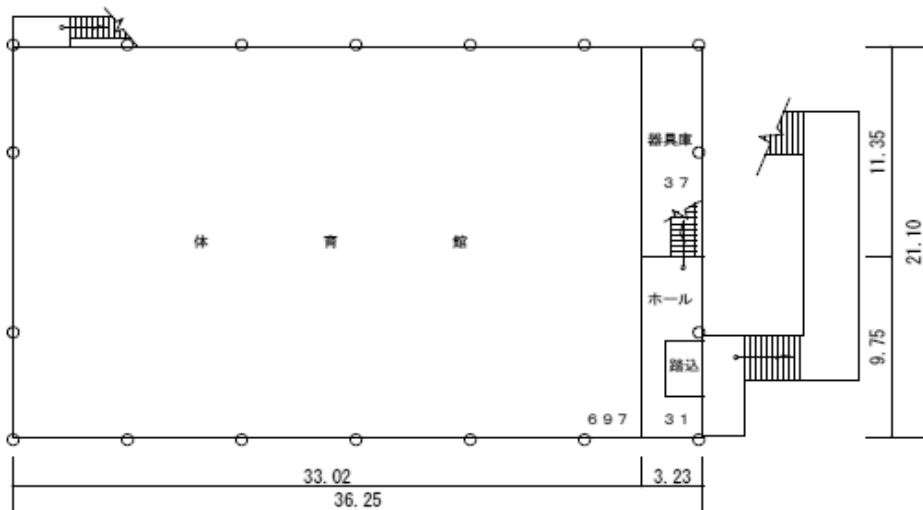
3 階 平面図 S=1/300
(872㎡)

蔵本体育館

棟名称	建築年	構造階数	施設調査単位			面積
			番号	名称	色区分	
体育館	1984	R2	6210	大学屋内運動場		1,440



1階平面図 S=1/400
(675㎡)



2階平面図 S=1/400
(765㎡)

(7) 避難所での防災備蓄品 2014年9月

常三島体育館防災備品(500人分目標)

防災食・飲料水	入数	箱数	人分
白飯(マジックライス)お湯160cc15分	50	11	550
たっぷり五目野菜缶詰	48	4	192
ライトツナフレーク	48	3	144
さば味噌缶詰	48	2	96
さんま蒲焼	60	2	120
割り箸	100	6	600
紙コップ	20	18	360
森の水だより2L 540本(90箱)	6	90	540
防災用品			
災害時用エアマット エアロマット	60	3	180
アルミヒートブランケットW	180	1	180
ペットシート	96	3	288
ポリ袋	30	5	150
新聞紙	100	3	300

工学部共通講義棟防災備品(150人分目標)

防災食・飲料水	入数	箱数	人分
白飯(マジックライス)お湯160cc15分	50	1	50
さば水煮缶詰	48	1	48
UAA防災食白粥(加熱・水不要)	50	1	50
たっぷり五目野菜缶詰	48	1	48
サバイバルパン(ハスカップ)	24	2	48
フルーツミックス缶詰	48	1	48
割り箸	100	2	200
プラスチックスプーン	20	10	200
保存水2L 150本(25箱)	6	25	150
防災用品			
スマートエアーマット(20人分いり)	20	3	60
ペットシート	96	2	192
ポリ袋	30	5	150
新聞紙	100	2	200

日亜会館用防災備品(150人分目標)

防災食・飲料水	入数	箱数	人分
白飯(マジックライス)お湯160cc15分	50	1	50
さば水煮缶詰	48	1	48
UAA防災食白粥(加熱・水不要)	50	1	50
たっぷり五目野菜缶詰	48	1	48
サバイバルパン(ハスカップ)	24	2	48
フルーツミックス缶詰	48	1	48
割り箸	100	2	200
プラスチックスプーン	20	10	200
保存水2L 150本(25箱)	6	25	150
防災用品			
スマートエアーマット(20人分いり)	20	3	60
ペットシート	96	2	192
ポリ袋	30	5	150
新聞紙	100	2	200

蔵本体育館用防災備品(300人分目標)

防災食・飲料水	入数	箱数	人分
白飯(マジックライス)お湯160cc15分	50	2	100
さば水煮缶詰	48	2	96
UAA防災食白粥(加熱・水不要)	50	2	100
たっぷり五目野菜缶詰	48	2	96
サバイバルパン(ハスカップ)	24	4	96
フルーツミックス缶詰	48	2	96
割り箸	100	3	300
プラスチックスプーン	20	15	300
森の水だより2L 300本(50箱)	6	50	300
防災用品			
スマートエアーマット(20人分いり)	20	3	60
ペットシート	96	3	288
ポリ袋	30	10	300
新聞紙	100	3	300

10. 避難所研修会実施支援者

○避難所研修会実施支援者名簿 【教員・事務関係】【学生関係】【実施委員関係】
23名 9名 9名

●9月7日(日)常三島地区

★総務部総務課

・災害対策アドバイザー 粕淵 義郎
・実施委員会委員 藤本 芳樹
・総務課長 川上 哲
・総務係長 樋口 優
・広報係長 明石 賞美(写真)
・法規係 川辺 健司

★避難対策班

・図書企画課 課長補佐 大田 朋也
・ " 総務係長 宮本 晴江
・ " 専門職員 岩野 宏治
・ " 図書情報係員 山本 豪
・工学部 予算管理係長 貝出 嘉幸
" " 主任 櫻田 奈穂
" " 係員 櫻木 孝祐

★総合科学部

・事務長 谷 昭二
・総務係長 川野 真一
・学務係長 木下 靖彦
・総務係主任 田渕 和也
・学務係主任 田村 典子
・学務係主任 田辺 満香
・総務係員 加川 祥子
・総務係員 山下 晃史
・学務係員 宮城 千穂

★工学部

・学部長 河村 保彦
・事務長 笹賀 一秀
・事務長補佐 原 雄三
・総務係長 滝川 泰弘
・学務係長 藤川 王男

★教員

環境防災研究センター
教授 中野 晋
准教授 田村 隆雄
助教 湯浅 恭史

★学生ボランティア

徳島大学 池内伽奈子
長尾 亮太
永松 啓伍
佐藤 隆文
四国大学 齋藤 智恵
徳島文理大学
真栄城志乃
山本 聖菜
吉廣 遙香
田村 めい

★徳島市 米沢 伸治
防災士会 金山 利勝

○避難所研修会実施支援者名簿 【教員・事務関係】【学生関係】【実施委員関係】
16名 10名 9名

●9月20日(土)新蔵地区

総務部総務課

- ・災害対策アドバイザー 粕淵 義郎
- ・総務課長 川上 哲
- ・総務係長 樋口 優
- ・広報係員 山中 利恵(写真)

★教員

- 環境防災研究センター
教授 中野 晋
准教授 田村 隆雄
助教 湯浅 恭史

★学生ボランティア

避難対策班

- | | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| ・企画評価課長 | 藤本 芳樹 | 徳島大学 | 長尾亮太 |
| " 課長補佐 | 橋川洋一郎 | 徳島大学 | 池内伽奈子 |
| " 計画評価係長 | 郡 義典 | 徳島大学 | 佐藤隆文 |
| " 社会貢献係長 | 林 雅彦 | 徳島大学 | 永松啓伍 |
| " " | 竹重 和也 | 徳島文理大学 | 田村めい |
| | | 徳島文理大学 | 佐尾亜希穂 |

徳島文理大学 真榮城志乃
徳島文理大学 吉廣遙香

留学生対応

- ・国際課課長補佐 中谷 毅
- ・国際交流係長 松尾麻里子

★留学生

Molomjamts Enkhjargal
肖 友

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 人事課 | 給与経理係 | 林 俊和 |
| 財務企画課 | 財務企画係長 | 長谷川 稔 |
| 資産管理課 | | 泉 朗 |
| 入試課 | | 妹尾 禎之 |
| IR室 | | 堀江 卓裕 |
| 施設企画課 | | 岡田 勢一 |
| 管理運営課 | 環境保全係員 | 栗田 正伸 |
| 計画整備課 | 機械係長 | 米澤 公二 |
| 教育企画室 | | 金治志津子 |

★徳島市 大崎主査
防災士会 金山 利勝

○避難所研修会実施支援者名簿 【教員・事務関係】【学生関係】【実施委員関係】

16名

7名

9名

●10月5日(日)蔵本地区

★総務部総務課

- ・災害対策アドバイザー 粕淵 義郎
- ・実施委員会委員 藤本 芳樹
- ・総務課長 川上 哲
- ・総務係長 樋口 優
- ・文書管理係員 川人 公美(写真)

★教員

- 環境防災研究センター
- 教授 中野 晋
- 准教授 田村 隆雄
- 助教 湯浅 恭史

避難対策班

- ・図書企画課蔵本分室事務室長 松尾 誠治
- 〃 専門職員 倉元 孝文
- 〃 利用支援係長 近藤 薫

医学部

- ・総務課長 川瀬 勲 徳島大学 長尾亮太
- ・総務係長 福川美千代 徳島文理大学 佐尾亜希穂
- ・管理係長 佐々木宣彦 徳島文理大学 吉廣遥香
- ・学務課長 森 太一 徳島文理大学 山本聖菜
- ・課長補佐 小山 順子 徳島文理大学 笠原智寛
- ・係員 清水 晃広 徳島文理大学 島実季
- ・地域看護学講師 岡久 玲子 徳島文理大学 横山瑞華
- ・メンタルヘルス支援学准教授 片岡 三佳

歯学部

- ・事務室長 米崎 正則 ★徳島市 米沢 伸治
- ・総務係長 福島 康宏 防災士会 金山 利勝

薬学部

- ・事務室長 小西 浩司
- ・総務係事務員 手嶋 悠美子

11. 徳島大学3地区の避難所研修会を終えて

常三島地区の避難所研修会には、200名を超える近隣住民の方にご参加いただき、当初の講演会会場を急遽変更して対応する等混乱も生じたが、津波浸水高さ 2m～3mと発表されている地域故、関心が非常に高いことの現れと感じ取れました。

常三島地区と新蔵地区には、徳島市から津波一時避難ビルとして指定された施設があるが、蔵本地区では、津波浸水高さが 30cm未満であることから一般災害時の避難所指定となっており、市立の小中学校の避難所収容人員を超える場合に大学に開設要請がされる位置づけであるため、特に近隣住民の方からは直ちに開設してもらいたいとの要望をいただきました。

アンケート結果を整理すると、大学の避難所施設についての問いに「建物は知っていたが入り口の鍵の仕組みは知らなかった」57%、「今まで建物がどこにあるか知らなかった」32%、「建物も鍵の所在・仕組みも知っていた」は 11%であった。アンケートの自由記述欄でも、「建物・鍵の所在・仕組みが分かって大変参考になった」という意見が多くみられました。

非常食の試食では、災害直後においてはお湯等の準備を必要としないものが有効であることも実感できました。

実際に参加された住民で車イスの方や階段を上れない方が何名かおられました。お話を聞くと「近所に住んでいるので、この機会に避難所を是非見ておきたい」とのことであったが、避難所として使う建物ならば、災害が発生した場合そのような方が沢山来られることを前提に建物の設計も考えておく必要性を痛感しました。

参加者の中には、「これなら近所の方も連れて来ればよかった。」「また研修会をやってほしい。」等の声や、後日避難所を見に来る方もいました。

今回は最も必要性が高く取り組み易い「避難所所在と鍵の確認」を取り上げたが、次回以降の開催を計画する際には、次に何をテーマに据えるべきか検討して取り組みたいと考えています。

徳島大学総務部総務課 災害対策アドバイザー 粕淵義郎